

1. 沿線住民への説明

沿線の片島上、片島中、片島下、津守上、津守下、富岡、曲上、曲下、芳河原の9自治区の自治委員を通じて、たきおコミュニティバスの休止の方向性について地元の説明し、6自治区を対象に住民説明会を開催した。

説明会では、コミュニティバスの利用状況や事業費用などについて説明し、休止の方向性および乗合タクシー「ふれあい交通」への移行について意見交換を行った。

参加者からは、コミュニティバスの利用者が非常に少ないことや、国道10号沿線での買い物や通院に使いづらい、ふれあい交通を活用したい等の意見が寄せられた。

《住民説明会の開催》

No	日時	場所	対象自治区	参加者数
1	8月8日（金）13時	曲下公民館	曲上、曲下	11人
2	8月22日（金）10時	森岡校区公民館	津守上、津守下、富岡	7人
3	8月31日（日）10時	芳河原公民館	芳河原	13人
計				31人

※片島（上・中・下）の3自治区は、地区内でコミュニティバス休止を回覧で周知

【主な意見の要旨】

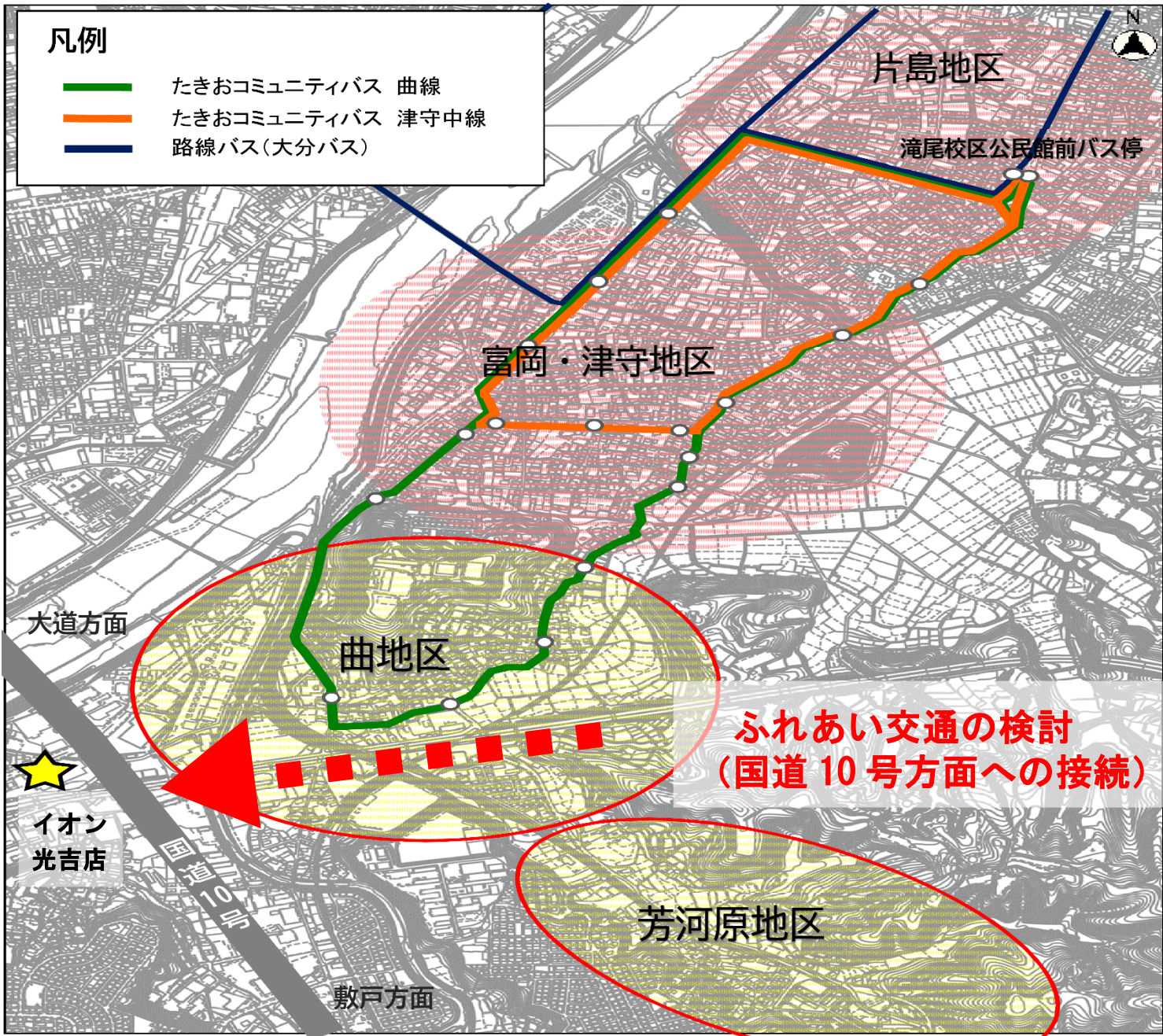
- ・ コミュニティバスの利用状況を考えると廃止となっても仕方がない。
- ・ コミュニティバスがない時間帯でバイパスのバス停まで歩いて路線バスに乗っている。
- ・ コミュニティバスは買い物で使いづらい。 コミュニティバスの接続先とは逆方向の国道10号沿いのイオン光吉店に歩いて行っている。 ふれあい交通が活用できると良い。
- ・ 普段はタクシーを利用して国道10号沿いの県立病院などに通っているが、頻度は少ない。
- ・ 芳河原地区はコミュニティバスの停留所がないので利用していない。 曲自治区と合わせてふれあい交通を活用し、国道10号方面に行けると良い。
- ・ ふれあい交通の検討は、曲や芳河原地区を中心にした方が良い。
- ・ 高齢になっても車での移動を続けている人が多いが、いずれは運転できなくなる。 等

2. 今後の取組の方向性

住民説明会での意見交換より、今後は以下の方向性で取組を進めることとする。

- たきおコミュニティバスは、令和7年度末をもって廃止とし、国道10号方面に接続する「ふれあい交通」について検討を進める。令和8年4月からの運行開始を目指す。
- 曲、芳河原地区を中心に、現在、日頃の生活で移動の支援が必要な方が集まり、「ふれあい交通」の検討を行う。

【ふれあい交通の接続先の考え方】



3. 今後のスケジュール（予定）

《令和7年》

- 10～11月 ふれあい交通の運行について住民と協議、意見とりまとめ
- 11月 公安委員会、道路管理者など関係者協議

《令和8年》

- 1月～2月 ふれあい交通の運行計画（曲・芳河原ルート案）を地元の説明
- 2月中旬 大分市地域公共交通協議会
- 2月下旬～ 運行計画の届出
- 3月上旬～ 登録者へ利用券・時刻表を送付
- 4月～ ふれあい交通通（曲・芳河原ルート）運行開始